

# 第36回 福祉のつどい

日野市障害者差別解消推進条例が施行されて

## 地域共生社会を考えるオンラインフォーラム

『無意識の偏見（思いこみ）～アンコンシャス・バイアス～  
こうした心遣いでみんな幸せ！』

地域共生社会の実現に向けた  
フォーラムを行います。  
新型コロナウイルス感染症に配慮し  
オンライン（動画配信）で開催します。

3月6日（土）13時～配信開始  
（90分）（YouTube）

「自分自身が気づいていないも価値観やモノの見方、思いこみ」を「アンコンシャス・バイアス」といいます。「アンコンシャス・バイアス」は私たち誰もが有しているといわれ、それ自体はすぐに悪影響を与える訳ではありませんが、「無意識の思いこみ」が人間関係を構築する中でネガティブに働くことがあるといわれています。

今回、「無意識の価値観（アンコンシャス・バイアス）」の視点から、障害のある人をはじめ多様な人々にとって暮らしやすい町づくりとは」について考えるフォーラムをオンラインで開催します。

【視聴方法】右記、「QRコード」を読み取り、専用ホームページからご視聴ください。

【講師・パネリスト・ファシリテーター】

- ① 菊地 美由紀 さん（視覚障害者・社会福祉法人東京光の家）
- ② 藤田 博文 さん（車いす利用者・NPO 自立生活センター日野）
- ③ 市本 真澄 さん（アクセント（株）テクノロジーコンサルティング本部アソシエイト・ディレクター）  
（コメンテーター）渡戸 一郎 氏（明星大学名誉教授・まちづくり人プロジェクト運営委員会委員）

【内容】①講演 「日野市障害者差別解消推進条例」前後の暮らしの変化  
多様な人が住む地域社会のなかで私たちが今できること  
インクルージョン&ダイバーシティに向けた社会づくり

②トークセッション



渡戸 一郎 氏

【問合せ先】社会福祉法人日野市社会福祉協議会 TEL. 042-582-2319

【主催】日野市社会福祉協議会【共催】日野市内社会福祉法人ネットワーク【協力】まちづくり人プロジェクト運営委員会  
この事業は、令和2年度東京都地域公益活動推進協議会事業費を活用しています。

# 講師・パネリスト プロフィール

## 菊地 美由紀 (きくち みゆき)

茨城県生まれ、東京女子大学現代文化学部言語文化学科卒  
3歳の終わりに小児癌により失明（全盲）となる  
地域の小学校、筑波大学附属盲学校高等部普通科と通学し、大学卒業後  
米国テキサス州で一年間のティーチングアシスタントとしてインターンを経験  
2011年4月に社会福祉法人東京光の家へ入職し、就労・相談支援業務に関わりながら、また「見えない暮らし」についての理解を広めるため、小中学校等への出前授業に多く携わる  
2018年9月より産休・育休開始して、現在2歳になる娘の子育て中



## 藤田 博文 (ふじた ひろふみ)

20歳の時にスノーボードの事故で頸椎を骨折  
2001年アメリカ 9.11 テロを自宅のTVで目の当たりにして大学復学を決意。福祉学を学ぶため立教大学コミュニティ福祉学部に進学  
2004年から自立生活センター・日野へ  
ピア・カウンセラーとして重度障害者の自立支援、個別相談に従事  
交通アクセス、バリアフリーなどの検討委員会に委員として参加  
日野市障害者差別解消基本方針・日野市障害者差別解消推進条例策定委員会の委員長を務める  
南アフリカにおけるJICA草の根技術協力事業による障害者支援に関わる  
現在、妻、子2人の4人暮らし

## 市本 真澄 (いちもと ますみ)

1998年にアクセンチュアに入社。ハイテク企業を中心としたITコンサルティング、システム導入・保守を担当  
現在は、アクセンチュアにおけるインクルージョン&ダイバーシティ担当として、障がいのある社員の雇用や人材育成の取り組みを推進  
また、Gender Equality (ジェンダーに起因する差別の廃止)の活動においては、性別に関わらず、子供を持つ社員向けの復職支援プログラムを展開。この活動によりUS Yahoo Financeの「The HEROes Women Role Model Lists 2020」に選出

